

## ■「効果の見えるダム事業」

こうとうがわ かばがわ

### 香川県 香東川総合開発事業（栂川ダム）

香川県土木部河川砂防課 竹内 正巳



香東川の出水状況（平成16年台風第23号）



ダム本体施工状況



完成予想イメージ



## ■「栂川ダムの完成を目指して」

高松市長 大西 秀人



高松市は、多島美を誇る波静かな瀬戸内海に面し、これまで人々の暮らしや経済・文化など様々な面において、瀬戸内海との深いかかわりの中で、県都として、発展を続けてきました。

平成17年、18年の合併等により、現在、市域の面積は、375.52km<sup>2</sup>となり、北は瀬戸内海から南は徳島県境に至る、海・川・山など豊かな自然を有する広範な市域の中に、にぎわいのある都心やのどかな田園など、都市機能と自然が程よく調和した人口約42万人の中核市です。

市中心部には、堀に瀬戸内海の海水を引きこんだ、日本三大水城の一つである高松城跡「玉藻公園」や特別名勝「栗林公園」、市東部には、源平の古戦場「屋島」といった本市が誇る景勝地がございますほか、海上4kmには、女木島（鬼ヶ島）、男木島、大島が、市南部には塩江温泉郷などがございます。

塩江町は、徳島県との県境で、本市の最南部に位置しており、香東川水系の内場ダムなどに代表される水源地域です。香東川は、古くから水利用が行われ、かんがい用水、水道用水の水源等に利用され、下流部には広大な耕地を有し、県内の穀倉地帯となっております。

この流域においては、昭和13年9月の台風による未曾有の大洪水をはじめとした、台風期の豪雨による災害が多く発生しており、度重なる洪水被害に対する治水安全度向上策として、昭和28年には内場ダムがしゅん工し、また、昭和46年度からは河道整備等の治水事業が進められてきました。しかしながら、気象状況の変化に加え、本水系の市街化の進展により影響を受ける範囲も拡大したことから、浸水の被害は今なお続いており、地域住民は更なる治水対策を強く望んでいる状況でございます。

一方で、平成6年の異常気象による渇水をはじめ、頻繁に香川用水の取水制限が行われるなど、水を取り巻く状況は厳しいものがございます。そのため、本市では、市民生活や社会経済活動に多大な影響を及ぼす渇水対策として、地下水の開発などの早明浦ダムだけに頼らない自己処理水源の確保など、水の安定供給の面で様々な課題に取り組んでおります。

このような中、平成30年3月29日に定礎式が行われた栂川ダムは、本市における治水・利水の両面において不可欠な事業であり、本市といたしましても、平成32年のダム完成に向けて、今後とも国や事業主体である県、関係機関の更なる御支援を賜りながら、引き続き、事業の促進に努めてまいりたいと存じます。また、本市の主要な観光エリアである塩江温泉郷の活性化に向けて、栂川ダムが観光資源としても大いに活用されますよう、県・市がともに協力し、地域の皆様とともに、魅力ある水源地域の創造に向け、今後とも、各種施策に、鋭意、取り組んでまいりたいと存じます。



栂川ダム定礎式（平成30年3月29日）  
（写真提供：香川県）